

第65期 株主通信

▶2024年12月21日～2025年12月20日

卓越した技術力と
強固な人的基盤を強みに、
成長軌道への早期復帰を目指してまいります

株主の皆様におかれましては、
平素より格別のご高配を賜り
厚く御礼申し上げます。
ここに第65期の業績及び
今後の取り組みについて
ご報告申し上げます。

代表取締役社長
細江 正大



理念の実践と経営の原点

2024年12月に代表取締役社長に就任して1年3か月が経過しました。この間、技術開発から販売まで経営のあらゆる局面で企業理念の実践に取り組んでまいりました。当社は「先端技術に常にチャレンジ」「技術を通じて社会に貢献

「全社員に生涯教育の場を提供、仕事を通じて自己向上を図る」を企業理念として掲げています。現状に満足することなく新たな領域へ挑戦し、多様な経験を積み重ねることで技術力を高め、その成果をお客様に確かな価値として提供し、喜んでいただける企業を目指しています。

その原動力となるのは、やはり“人”です。企業理念のもと、人財を最大の資産と位置づけています。私自身、多様な挑戦と経験が成長につながると実感してきました。その過程では苦しい場面もありましたが、その経験があるからこそ、社員一人ひとりが楽しみながら継続的に挑戦できる環境を創り上げたいと考えています。その実現に向けて、評価の透明性と公平性を高めた新人事制度の整備を進めています。

各事業の成長戦略

トップラインの拡大を重視し、安定的かつ持続的に利益を伸ばせる体制づくりを目指します。基本戦略は「既存事業+ α 」です。既存事業の競争力を一段と高めると同時に、周辺領域への展開と高付加価値化を通じて持続的成長を実現します。

電子基板事業については、これまで注力してきた医療・産業機器分野に加え、宇宙・航空関連向けをターゲットに高難度FPC（MSAP、高密度多層、高周波、耐熱・耐振動等）の技術開発を進めています。これらの分野は実績が重視される市場であることから、試作から量産へとつながる案件も増加しており、今後さらに拡大していくものと見込んでいます。また、資材調達から回路設計、製造、実装、筐体組立、検査、出荷まで一貫対応できるEMS体制を整え、お客様との関係性を強化するとともに、大型量産案件については国内外の協力メーカーと連携し、当社の品質・設計・生産ノウハウを活かし提案を進めてまいります。

テストシステム事業については、外観検査機に搭載するAIシステム「XAIS」の性能をさらに高め、欠陥検出能力の

向上や虚報低減、微細化への対応力を強化していきます。こうした技術基盤の強化を踏まえ、今後は半導体関連及び素材メーカー向けに対応領域を広げていく方針です。通電検査機ではアライメント精度や動作速度を高め、高電流・高精細製品への対応を強化し、お客様の生産性と検査品質向上に貢献してまいります。

鏡面研磨機事業については、従来のグラビア印刷機向け等に加え、リチウムイオン電池用フィルム加工向けなど新たな用途開発にも積極的に取り組んでいきます。また、設備更新需要の確実な取り込みとアフターサービスの強化により、収益力の向上を図ってまいります。

産機システム事業については、労働人口減少を背景に高まる省人化・自動化ニーズに対応し、製造現場におけるFA・ロボット及び検査技術を組み合わせた自動化ソリューションの提案を強化していきます。商社・代理店・協力会社との連携を深めることで、案件対応力を高めるとともに「ものづくり商社」として新規顧客・新規分野の開拓を進めてまいります。

企業価値向上と資本政策

業績向上と成長戦略を軸に企業価値向上に取り組むとともに、IR活動の強化と透明性の高い情報開示を進めてまいりました。その結果、流通株式時価総額は改善し、スタンダード市場の上場維持基準に適合いたしました。今後も安定的に基準を維持できるよう、業績向上と適切な情報発信を継続してまいります。

キャッシュアロケーションは成長投資と株主還元のパランスを基本とし、技術開発・設備投資・人的資本への投資を計画的に進め、持続的成長と安定的還元を両立し、企業価値向上を目指します。

株主の皆様には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第65期 業績ハイライト



セグメント別概況

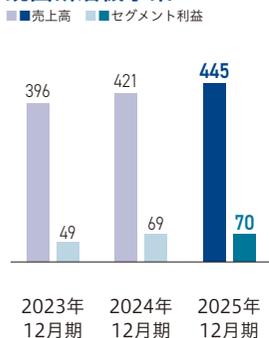
電子基板事業



テストシステム事業



鏡面研磨機事業



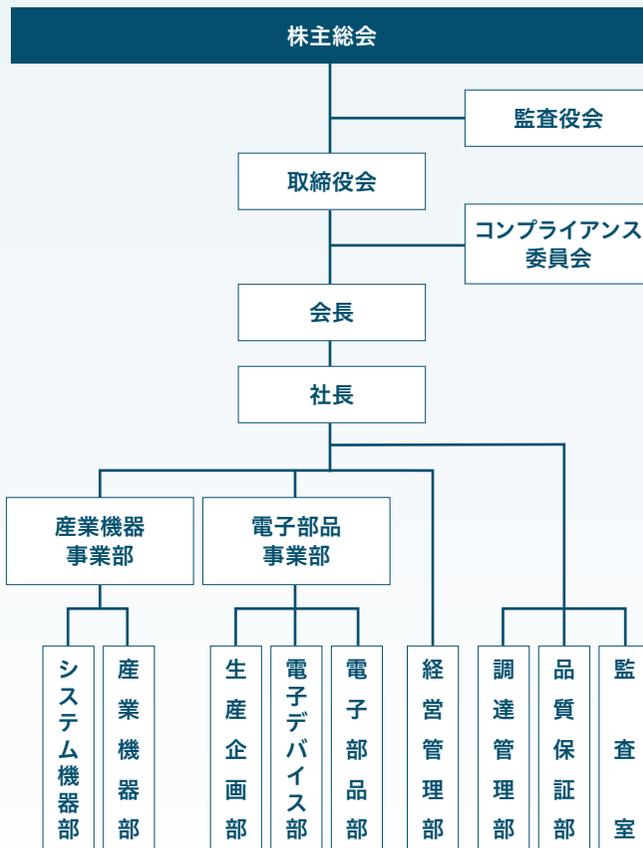
産機システム事業



戦略・施策について

事業部制の導入について

2026年12月期より事業部制へ組織再編いたしました。各事業部に権限を委譲し、課題発生時には主体的に判断・実行し、確実に結論まで導く体制を整えました。また、管掌取締役及び執行役員役割を明確化するとともに、電子部品事業部及び産業機器事業部を新設し、業務効率と組織間の連携強化を図っています。変化の激しい環境に対応するため実行力を重視し、中期経営計画を継続的に見直ししながら、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組みを進めてまいります。



TOPICS トピックス

和歌山県「宇宙まちづくり推進事業」への参画について

電子基板事業のさらなる成長に向け、和歌山県が推進する「宇宙まちづくり推進事業 (Kii Space HUB)」に参画しています。本事業は、民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」を核に、宇宙産業の集積や人材育成、地域活性化を目指す全国的にも注目度の高い取り組みです。これまで培ってきたFPC及びエレクトロフォーミング技術を活かし、宇宙機器の軽量化・高機能化に貢献することを目指しております。宇宙関連分野は、高度な信頼性・耐環境性・高精度が求められる領域であり、こうした技術要求への対応は、当社の技術基盤の底上げにつながります。民間宇宙企業や研究機関との連携を深め、当社技術の応用範囲を拡大してまいります。

和歌山県
和歌山県
和歌山県

民間ロケット発射場「スペースポート紀伊」が所在する和歌山県において、宇宙産業の集積・人材育成・地域活性化を目指すプロジェクトに参画しています。

フレキシブルプリント基板の製造技術を活かし、**宇宙機器の軽量化・高機能化**に貢献することを目指してまいります。

FPCは 軽い!
FPCは 薄い!
FPCは 柔らかい!

	4層リジッド基板	4層FPC一括
ワイヤーハーネス	FPCケーブル	
重さ	73g	35g 9g
総厚	996μm (コネクタ除く)	315μm

リジッド基板やハーネスをFPCに置き換え、**軽量・薄型化を実現!**